

2020（令和2）年12月18日

大阪経済記者クラブ会員各位

（同時配布先：大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、近畿経済産業局記者会、経済産業記者会、経済団体記者会）

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
大阪商工会議所

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

万博開催の機運醸成と未来社会を見据えたイノベーション創出に向けた 夢洲における実証実験の提案公募を行います

- 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下、「博覧会協会」）と大阪商工会議所は、2021年1月18日より2月19日まで、**2025年大阪・関西万博の会場予定地である夢洲における実証実験の提案を公募**します。本取り組みは、万博開催に向けた機運醸成の一環で実施するものであり、選考・採択された案件は、実証実験に要する費用は自己負担となりますが、大阪における実証実験の円滑・効果的な実施のために大阪府、大阪市、大阪商工会議所が設置する「実証事業推進チーム大阪（以下、「チーム大阪」）」が支援します。博覧会協会、大阪府、大阪市、大阪商工会議所の4者が緊密に連携して取り組み、企業等によるイノベーション創出の促進を図ります。
- 今回の公募で寄せられた提案は、内容や要件等の確認および**有識者による選考**を踏まえ、博覧会協会と大阪商工会議所が10件程度を採択してチーム大阪へ推薦します。チーム大阪は、推薦された案件の**実施に向けたフィールド調整等に取り組み、博覧会協会と共同で情報発信等**を行います。
- 対象は先進的なまちづくり、IoTやロボットテクノロジー、自動運転、ドローン、AIなどの分野で、革新的な製品、サービス等の開発を目指す実証実験です。実験可能期間は、**2021年度当初頃から2022年夏頃まで**。特に**2025年大阪・関西万博の開催に向けた機運醸成として、中長期的に社会実装を計画するような実証実験も歓迎**します。
- 今回の公募は、万博の会場整備工事が開始されるまでの期間を有効活用する取り組みとして、実施するものです。



夢洲（ゆめしま）

＜公募概要＞

主 催：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、大阪商工会議所

応募期間：2021年1月18日（月）10時から2月19日（金）17時

実験場所：大阪 夢洲（ゆめしま）

採択件数：10件（予定）

※採択案件の実施に際しては、大阪府、大阪市、大阪商工会議所による「実証事業推進チーム大阪」が支援します。

＜公募説明会概要＞

日 時：2021年1月13日（水）15時30分から17時

場 所：大阪商工会議所 7階 国際会議ホール（YouTube Live 配信を併用）

※ 応募にあたり本説明会への参加は必須ではありません。また、本説明会への参加の有無が選考に影響することはありません。

※ 申込方法等本説明会の詳細については、添付資料2をご参照ください。

＜添付資料＞

資料1：「夢洲における実証実験」実施要項

資料2：公募説明会 案内状

資料3：実証実験の支援実績（大阪商工会議所）

以 上

（問合せ先）

- 本公募、公募説明会等に関すること
大阪商工会議所 産業部（野間、吉村）
TEL：06-6944-6300

- 大阪・関西万博に関すること
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 広報部
TEL：06-6625-8654

夢洲における実証実験 実施要項

募集締切 : 2021 年 2 月 19 日 (金) 17 : 00

公募は本実施要項に基づいて実施いたしますが、今後、内容等が一部変更になる場合があります。公募要領は、公募説明会（1 月 13 日）での公開をはじめ、応募サイト（1 月 18 日公開）上にも掲載しますので応募に際しては応募者自身が必ず確認ください。

2020 年 12 月

(公社) 2025 年日本国際博覧会協会

大阪商工会議所

1. 目的

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下「博覧会協会」という。）及び大阪商工会議所は、企業等による未来社会を見据えたイノベーション創出の促進を図るため、夢洲をフィールドとした先端技術等の実証実験を公募いたします。

本取り組みは、「未来社会の実験場」をコンセプトとする2025年大阪・関西万博の開催に向けた機運醸成の一環として取り組むものです。

なお、選考された実証実験案件については、大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成される「実証事業推進チーム大阪（以下「チーム大阪」という。）」と連携し、チーム大阪がフィールド利用に関する調整等を行います。

2. 主催

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
大阪商工会議所

3. 募集内容

（1）対象と実証実験の内容

上記目的に沿った、夢洲において実施を希望する実証実験の提案。ただし、①の対象分野に該当し、②の実証実験の要件を満たすものであることとします。

特に、2025年大阪・関西万博の開催に向けた機運醸成として、中長期的に社会実装を計画するような実証実験も歓迎します。

① 対象分野

- ア 先進的なまちづくり
- イ IoT、RT（ロボットテクノロジー）
- ウ 自動運転
- エ ドローン
- オ AI（人工知能）
- カ ヘルスケア
- キ オープンデータ、ビッグデータ

② 実証実験の要件

概念の検証、技術や試作品の実験、事業化可能性の検証等の実証要素のあるものであること（すでに市場投入され社会実装が進んでいるものなどは対象外。ただし、社会実装がされているものであっても、用途として革新的で実証要素のあるもの等は対象とする）。

（2）実験場所と実験実施可能期間

① 実験場所

夢洲内の万博会場予定地を予定しています。

※ 上下水道、電気・ガス等のインフラは基本的にありません。実験場所によって電気や

水道が利用可能な場合がありますが、その利用の可否については個別に調整が必要です。
また、実験場所は実施後に原状回復していただく必要があり、費用は全て実証実験を実施する企業等に負担していただきます。

② 実験実施可能期間

2021 年度当初頃～2022 年夏頃

※ 実験に必要な土地（水面も可）の場所、面積、実施時期（〇月頃等）、実施期間（〇日間等）等を提案いただき、選考後に案件ごとに調整いたします。4.（2）応募方法に記載のエントリーフォームにアクセスいただきご希望をご記載いただきます。

※ 実験実施期間中であっても工事により終了していただく場合があります。

（3）応募資格

責任を持って実証実験を行うことのできる国内に研究・活動拠点を有する法人その他の団体で、次の要件に該当する法人その他の団体とします。

・代表者又は役員の中に暴力団員（大阪市暴力団排除条例（平成 23 年大阪市条例第 10 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団員をいう。）及び暴力団密接関係者（大阪市暴力団排除条例施行規則（平成 23 年大阪市規則第 102 号）第 3 条に規定する暴力団密接関係者をいう。）に該当する者がいないこと。

（4）採択件数

10 件（予定）

4. 公募プロセス

（1）応募期間

2021 年 1 月 18 日（月）10:00～2 月 19 日（金）17:00 必着

（2）応募方法

1 月 18 日から公開する応募サイト（<https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202012/D22210118016.html>）から所定のエントリーフォームにアクセスし、必要事項を日本語で記載して応募ください。ご入力いただければ自動返信メールが届きますので、不着の場合は事務局へご連絡ください。提案内容を補足する資料があれば、自動返信メールに記載の URL からアップロード（最大 1 ギガバイト）をお願いいたします。

（3）公募説明会の開催

以下の日程で、公募説明会を開催します。

【日 時】2021 年 1 月 13 日（水）15:30～17:00

【場 所】大阪商工会議所 7 階 国際会議ホール（YouTube ライブ配信併用）

【内 容】夢洲における実証実験公募要領等の説明、質疑応答

【参加費】無料

【申込み】下記ホームページからお申し込みください。

<https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202011/D22201216011.html>

(4) 質問の受付

応募に関する質問等は、2021 年 1 月 13 日（水）から 2021 年 2 月 17 日（水）17:00 までの間、大阪商工会議所の問合せ先で電子メールで受け付けます。

※ 応募に当たっては、本公募説明会への参加は必須ではありません。また、選考にあっても、本公募説明会の参加有無は考慮されません。

5. 選考方法

(1) 選考方法

提出されたエントリー内容について、外部有識者等の第三者による選考委員が、下記の選考項目について選考を行い、実験実施候補者を決定します。エントリー内容について、事務局より個別に内容の確認を行う場合があります。

<選考項目>

- ① 実証実験の目的・目標、社会実装に向けた課題等が明らかにされており、課題解決に向け効果的な提案内容となっているか。
- ② 実証実験で検証しようとする製品、サービス等が革新的なものか。
- ③ 実証実験の実施体制、実施内容、スケジュールは適切か。
- ④ 提案者は事業化に関する知識、ノウハウ、経験等を有しているか。

(2) 選考プロセス

実験実施候補者の選考にあたっては、①書類による 1 次選考、②プレゼンテーションによる 2 次選考を行います。1 次選考ではエントリーいただいた内容、補足資料に基づき選考を行うとともに、2 次選考では提案内容のプレゼンテーションにもとづき、実験実施候補者を選考いたします。

① 書類による 1 次選考

【結果通知】2021 年 3 月中旬（予定）

※ エントリーフォームに入力された連絡先に 2 次選考に進んでいただけるか否かを E メールで通知します。

※ 2 次選考の対象となった提案者には、2 次選考の日時を連絡いたします。

② プレゼンテーションによる 2 次選考（対象者のみ）

【日 時】2021 年 3 月下旬（予定）頃

【場 所】大阪商工会議所（大阪市中心区本町橋 2－8）

※ 外部有識者等の第三者で構成された選考委員会において、提案内容をプレゼンテーションいただき、質疑応答を行います。

(3) 選考結果の通知と公表

2次選考の結果は、2021年3月末日（予定）にエントリーフォームに入力された連絡先にEメールで通知します。

博覧会協会と大阪商工会議所は、選考された実験実施候補者を、チーム大阪に対して推薦します。選考結果は、とりまとめて公表いたします。公表前には、選考された実験実施候補者に対して下記6.の留意事項を了承いただけるかを改めて確認します。

- ※ 書類による1次選考、プレゼンテーションによる2次選考ともに個別の選考に関するお問い合わせには応じられませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 提出された応募申請書等については、秘密保持には十分配慮するものとし、審査以外には無断で使用いたしません。
- ※ 実施場所、実施時期等を調整させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 今回の実証実験の取組の公募は万博開催の機運醸成とイノベーションの促進を目的としております。2025年大阪・関西万博の会場の検討等とは関連付けられていない取組であり、実証実験を実施した製品、サービス等であっても2025年大阪・関西万博で採択、実施、展示等が約束されているものではないことを予めご了承願います。

6. 留意事項

あらかじめ次の点について十分にご理解をいただいた上で、ご応募くださいますようお願いいたします。

(1) 実験実施にかかる付帯条件

博覧会協会及び大阪商工会議所は、選考された実験実施候補者をチーム大阪へ推薦します。実験実施候補者は、チーム大阪を窓口として、公序良俗に反しないことや、安全確保、法令順守等の事前協議を行い、夢洲のフィールド管理者（大阪港湾局）から、フィールド利用等の許可を得ることが実験実施の条件となります。また、夢洲での実施が難しい場合は、提案者のニーズに応じて、他のフィールド（他の公園や施設等）での実施や、他制度の活用をご案内する場合があります。

(2) 安全確保、環境保全等のための対応

今回の実証実験の提案が可能な夢洲の対象エリアでは、土地造成やインフラ工事が実施されており、工事車両の頻繁な往来等がありますので、必要に応じて十分な安全確保の措置をお願いすることとなります。また、環境保全への配慮をお願いします。

(3)「実証実験実施にかかる規約」への同意

上記安全確保等のための対応の他、費用負担をはじめ必ずご確認いただきたい事項が定められている「実証実験実施にかかる規約」(URL : https://www.osaka.cci.or.jp/innovation/digital_transformation/pdf/demonstration_terns.pdf) を遵守いただき、実証実験の実施に当たっていただきます。

また、実証実験実施後の報告書は、チーム大阪のほかに博覧会協会にもご提出いただくことになります。

(4) その他

実証実験の内容により、全ての希望に添えない場合や、実施できない場合があります。

また、実証実験を行った場合であっても、夢洲の景色や施設の写真・映像等を使用する場合は大阪市の確認が必要です。

7. 問い合わせ先

○実証実験に関すること、公募・提案に関すること

大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当 (野間・瀧本・吉村)

所在地：〒540-0029 大阪府中央区本町橋 2-8

T E L : 06-6944-6300 F A X : 06-6944-6249

E-mail : sangyo@osaka.cci.or.jp

○大阪・関西万博に関すること

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 (山内・中平・田村)

所在地：〒559-0034 大阪府住之江区南港北 1-14-16

T E L : 06-6625-8685 F A X : 06-6625-8738

E-mail : info-jisho@expo2025.or.jp

以 上

2025年大阪・関西万博会場予定地 夢洲での実証実験 公募説明会開催のご案内

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と大阪商工会議所は、**2025年大阪・関西万博の会場予定地である夢洲（大阪市此花区）での実証実験の提案を、2021年1月18日より2月19日の間で公募**します。本取り組みで選考・採択された案件は、大阪における実証実験の円滑・効果的な実施のために**大阪府、大阪市、大阪商工会議所が設置する「実証事業推進チーム大阪」**が支援します。

公募開始に先立ち、下記の開催概要の通り公募説明会を開催いたします。ご関心のある方はぜひご参加ください。なお、応募や選考にあたっては、本説明会への参加有無は問いません。

開催概要

日時

2021年1月13日（水）15時30分～17時（15時受付開始）

場所等

会場：大阪商工会議所 7階国際会議ホール
（大阪市中央区本町橋2-8）
オンライン：YouTube Live配信

定員

会場：160名（※定員720名の会場）
オンライン：無制限

参加費

無料

内容

- ・夢洲における実証実験公募要領等の説明
- ・質疑応答

申込

以下の公募説明会URLまたは右のQRコードからお申込みください。
<https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202011/D22201216011.html>



夢洲での実証実験 公募概要

主催

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、大阪商工会議所

応募期間

2021年1月18日（月）10時～2月19日（金）17時必着

実験場所

夢洲（大阪市此花区）

採択件数

10件
（予定）

実施可能期間

2021年度当初頃～2022年夏頃

※採択案件の実施に際しては、大阪府、大阪市、大阪商工会議所が設置する「実証事業推進チーム大阪」が支援します。

※公募は、公募説明会ホームページに掲載の「夢洲における実証実験実施要項」に基づき実施します。

提案の応募に際しては公募要領を必ず確認し、1月18日に公開の下記応募サイトからご提案下さい。

（<https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202012/D22210118016.html>）

※実証実験に要する費用は自己負担となります。



お問合せ先 大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8

TEL：06-6944-6300 E-Mail：sangyo@osaka.cci.or.jp

実証実験の支援実績

大阪商工会議所

2017年度

1. ドローンを活用した「大阪城・六番櫓」の画像撮影

株式会社E・C・R一級建築士事務所（大阪市中心部、代表取締役社長：小笠原通晴氏）から大阪商工会議所に高解像度カメラを搭載したドローンの実証実施の希望があり、経済戦略局、都市計画局、大阪城公園指定管理者「大阪城パークマネジメント共同事業体」を通じて、大阪城・六番櫓で実施できるよう調整、支援した。



- ① 実施日：2017年6月5日
- ② 概要：高解像度カメラを搭載したドローンで、「大阪城・六番櫓」の屋根上部や堀側南壁面を画像撮影し、瓦のズレや破損、壁面の割れや浮きなどの状況を確認する。
- ③ 今後：撮影した画像の活用方法や活用する際の課題について大阪城パークマネジメント共同事業体からフィードバックを受け、実施主体である(株)E・C・R一級建築士事務所が実用的なサービスの開発に取り組む。

2. 訪日外国人向け無料SIMカードアプリによる送客サービス

第1号案件の報道を受け、株式会社トラベルテックラボ（大阪市中心部、代表取締役社長：芝先恵介氏）から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市経済戦略局を通じて、大阪・光の饗宴実行委員会で開催できるよう調整、支援した。



- ① 実施日：2017年11月8日～12月31日
- ② 概要：「大阪・光の饗宴2017」の開催期間中（11月12日～12月31日）に、株式会社トラベルテックラボが訪日外国人にSIMカードを無料配布し、専用アプリを使って、事前に定めた約80スポットへの送客効果を実証する。スポット訪問者には、モバイルデータ通信料（1スポット100MB）を付与する。
- ③ 今後：実証で収集したマーケティングデータ（①ユーザー属性情報、②スポットチャージ計測）は、次年度（大阪・光の饗宴2018）の事業企画に役立てる。

3. ドローンを活用した「大阪港・海岸保全施設（防潮堤・護岸）」の画像撮影

株式会社E・C・R一級建築士事務所（大阪市中心部、代表取締役社長：小笠原通晴氏）から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市都市計画局と港湾局を通じて、大阪港・海岸保全施設で実施できるよう調整、支援した。

- ① **実施日**：2017年11月13日
- ② **概要**：海岸保全施設（大阪市大正区北恩加島2丁目）の防潮堤及び護岸において、高解像度カメラを搭載したドローンで画像撮影し、防潮堤等のコンクリート構造物の段差、ずれ、ひび割れ等の変状を確認する。
- ③ **今後**：別途実施している目視等による点検の結果と同程度の結果が得られるかを確認するとともに、実施主体である株式会社E・C・R一級建築士事務所が、今回撮影した画像を活用し、防潮堤などのコンクリート構造物の変状を自動的に検出する実用的なサービスの開発に取り組む。



4. ドローンを活用した「常吉大橋」の画像撮影

菱田技研工業株式会社（堺市西区、代表取締役社長：菱田聡氏）から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市都市計画局と港湾局を通じて、常吉大橋で実施できるよう調整、支援した。

- ① **実施日**：2017年12月7日
- ② **概要**：常吉大橋（鋼製橋梁）の桁下において、高解像度カメラを搭載したドローンで画像撮影し損傷箇所を確認するとともに、飛行環境（GPS位置情報等の位置情報）を調査する。
- ③ **今後**：今回撮影した画像と測定データを活用し、鋼製橋梁桁下での点検ノウハウを蓄積し、ドローンの橋梁点検への応用可能性を探る。

5. ドローンの衝突回避に係る技術開発のための飛行試験

マゼランシステムズジャパン株式会社（兵庫県尼崎市、代表取締役社長：岸本信弘氏）から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市都市計画局と港湾局を通じて、夢洲2区で実施できるよう調整、支援した。

- ① **実施日**：2018年3月19日（月）
- ② **概要**：無人航空機（ドローン）が地上及び空中の物件等を検知し、即時に当該物件等との衝突を回避し飛行するための技術を開発するため、夢洲2区内で、準天頂衛星システム対応の高精度衛星測位受信機を搭載した機体を飛行させ、機体間相互通信システムの動作検証を調査する。
- ③ **今後**：今回、使用した高精度衛星測位受信機の基板をLSI化することで高精度かつ小型、軽量、省電力化の達成を目指す。



2018年度

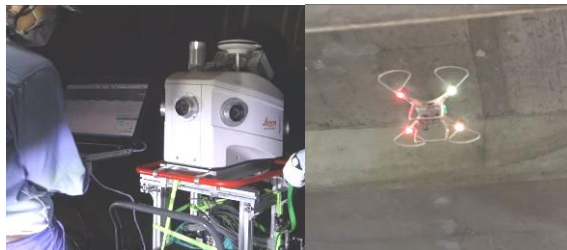
1. ICT 技術を活用した地下河川構造物に対する点検手法の検証

株式会社パスコ（本社：東京都、代表取締役社長：島村秀樹氏）から実証事業検討チームに実証実施の希望があり、大阪府を通じて、寝屋川水系の地下施設「三ツ島調節池（門真市）」、「中鴻池調節池（東大阪市）」で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2018年8月27日、28日

② 概要：点検が困難な地下河川構造物について、ドローンや各種レーザ計測機器、カメラ画像解析技術等を用いて計測・分析する。

③ 今後：実証を通じて収集した計測データをもとに、点検が困難なインフラ施設の新たな点検手法として、適用の可能性の検討に役立てる。



2. 「中之島チャレンジ」における移動ロボットの自動走行技術実証

株式会社プロアシスト（本社：大阪市、代表取締役社長：生駒京子氏）から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市を通じて、中央公会堂及び中之島図書館周囲の歩道で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2018年9月23日、24日

② 概要：中之島で実施する移動ロボットの屋外走行実験「中之島チャレンジ」において、5チーム6台の移動ロボットが、定められたコースを時速4キロメートル以下で自動走行する。

③ 今後：実証を通じて収集した走行データをもとに、人が往来する環境における移動ロボットの自動走行技術の開発に役立てる。



3. 超小型電動モビリティ用ワイヤレス充電システムに関する実証

株式会社ダイヘン（本社：大阪市、代表取締役社長：田尻哲也氏）から実証事業検討チームに実証実施の希望があり、大阪市を通じて、大阪城公園で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2018年12月10日～2019年1月31日

※2018年10月29日～11月2日にプレ実験を実施

② 概要：超小型電動モビリティ用ワイヤレス充電システムと超小型電動モビリティを大阪城公園内に設置。公園内の巡回や設備の確認、点検等に利用することで、車両の消費電力、充電の頻度や時間、バッテリー残量等を計測・分析する。

③ 今後：実証を通じて得られたデータをもとに、充電頻度を上げることによる電池容量の削減可能性等の検証に役立てる。



4. 水道使用量データを活用した「見守り・ヘルスケアサポート」の導入に向けた実証

愛知時計電機株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：星加俊之氏）から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市水道局と協議、両者の共同研究として、大阪市内（住之江区安立）の独居高齢者を中心とした30世帯への機器設置を支援した。

- ① 実施日：2018年12月中旬～2020年3月
- ② 概要：見守り・ヘルスケアサポートの構築に向け、スマート水道メーターを設置することで、水道使用量データの収集、並びに、AIを活用した分析を行う。
- ③ 今後：実証を通じて得られたデータをもとに、異変検知手法の研究・検証を行い、見守り・ヘルスケアサポートの構築に役立てる。



5. デジタルサイネージを使った集散的視線推定システムに関する実証

大阪大学大学院情報科学研究科・菅野裕介准教授から大阪商工会議所に実証実施の希望があり、大阪市を通じて、アジア太平洋トレードセンター（ATC）で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2018年12月15日～24日
- ② 概要：施設やイベント案内などを目的に設置されているデジタルサイネージに視線推定システムを組込み、人が行き交う実際のサービス現場での視線推定が可能かを検証する。
- ③ 今後：実証実験を通して得た評価をもとに、広告・マーケティング分野での実用化に取り組む。



6. 大阪上本町駅周辺でのデジタル地域通貨の実用化に向けた実証

近鉄グループホールディングス(株)（本社：大阪市、代表取締役社長：吉田昌功氏）が(株)三菱総合研究所と連携して実施する実証事業において、実証事業検討チームとの連携の希望があり、大阪市を通じて、大阪市の国際交流拠点施設である大阪国際交流センターの飲食施設「ビュッフェ レストラン ラッフィナート」が参加施設となるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2019年2月1日～28日
- ② 概要：総務省の「行政や公共性の高い分野におけるブロックチェーン技術の活用及び社会実装に向けた調査研究」に協力し、大阪上本町駅周辺エリアにブロックチェーン技術を活用したデジタル地域通貨を導入することで、プレミアム付商品券のデジタル化による地域経済活性化の可能性について検証する。
- ③ 今後：利用者の声を収集し、実用化に向けて開発・活用を推進する。

7. ドローンを用いた低層大気の気象観測に関する実証

日本気象㈱（本社：大阪市、代表取締役：鈴木正徳氏）から実証事業検討チームに実証実施の希望があり、大阪市を通じて、大阪城西の丸庭園で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2019年2月25日
- ② 概要：ドローンを複数回にわたって地表から高度150mまで垂直飛行させて各高度における気象データ（気温・湿度・風向風速・気圧）を取得し、都市大気の特徴を把握するために必要な最小限の飛行高度を検証する。
- ③ 今後：取得したデータをもとに、将来の定期観測の基準策定に役立てる。



8. ドローンを用いた画像解析システムに関する実証

株式会社ミライト・テクノロジーズ（本社：大阪市、代表取締役社長：高島宏一氏）と株式会社NTTファシリティーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：一法師淳氏）から大阪城公園での実証事業実施の希望があり、大阪市を通じて、大阪城公園で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2019年3月15日以降順次
- ② 概要：大阪城公園において、①画像から不審物を自動抽出する「園内の巡回点検」、②複雑な形状の石垣を高解像度で3次元モデル化する「城郭石垣の精密撮影」、③複数箇所上空からの斜め撮影画像をもとに現状の地形や建物を立体的に把握する「大阪城公園・天守閣の3次元モデルの作成」の実証を行い、巡回点検稼働の削減や視点を変えた点検、災害時の状況把握、復旧計画の立案などに役立てる。
- ③ 今後：実証結果を踏まえ、ドローンを活用したサービスの開発を目指す。



9. 次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino」の実証

関西電力株式会社（本社：大阪市、取締役社長：岩根茂樹氏）から大阪城公園での実証事業実施の希望があり、大阪市を通じて、大阪城公園で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2019年3月17日～21日
- ② 概要：大阪城公園において、「日本伝統文化×時速5キロメートル」をテーマに、低速で移動するモビリティ「iino」上で日本伝統文化に関するコンテンツ（茶、日本舞踊、三味線）に関するパフォーマンスを実証する。
- ③ 今後：観光地での外国人観光客に向けた新たなサービスの開発を目指す。



2019年度

1. ブロックチェーン技術を利用した個人間コイン流通サービスの実証

アララ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岩井陽介氏）から実証実験実施の希望があり、大阪商工会議所で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2019年4月17日～6月14日
- ② 概要：有志の大阪商工会議所職員約30人が「感謝の気持ち」をコインに変えて送り合い、その結果をもとに、トランザクション（送金頻度や送金相手の多様性）を検証するほか、サービスに対するエンゲージメントの向上方法を検討した。



- ③ 今後：実証実験の結果を踏まえ、社内コミュニケーションの改善に努める企業に対し、個人間コイン流通サービスの提供を検討する。

2. 「中之島チャレンジ 2019」における移動ロボットの自律走行技術実証

株式会社プロアシスト（本社：大阪市、代表取締役社長：生駒京子氏）から実証実験実施の希望があり、中央公会堂及び中之島図書館周囲の歩道で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2019年9月23日
※実験走行：7月14日、15日、9月22日
- ② 概要：中之島で実施する移動ロボットを自律走行させる公開共同実験「中之島チャレンジ」において、14チーム14台の移動ロボットが時速4キロメートル以下で自律走行した。



- ③ 今後：実証実験を通じて収集したデータをもとに、人が往来する環境における移動ロボットの自律走行技術の開発に役立てる。

3. 建造物の浸水を検知する水位センサの動作性確認に関する実証

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（本社：東京都新宿区、取締役社長：西澤敬二氏）と株式会社ウェザーニューズ（本社：千葉県千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁氏）から実証実験実施の希望があり、大阪府管理河川2か所で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施期間：2019年12月4日～2020年3月31日
※機能の検証に十分なデータが収集出来次第、実証実験を終了する予定。
- ② 概要：河川の隣接建造物にIoTセンサを設置し、河川の水位変化を計測することで、台風などの水害による建造物の浸水を検知する機能の動作性を検証する。
- ③ 今後：本センサを建造物の壁面等に設置して収集するデータをもとに、被害予測モデル等を構築し、防災サービスを拡充する予定。



4. 自動運転用画像認識システムの実証

株式会社山電器（本社：吹田市、代表取締役：守谷公一氏）から実証実験実施の希望があり、万博記念公園で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2019年12月18日

② 概要：車両前方にミリ波センサを装着し、人・車などの特定の対象物との距離を測定し、画像解析とマッチングすることで、対象物を検知する精度を検証する。



③ 今後：実証実験を通じて収集したデータを分析し、画像認識システムの実用化に向けた開発に役立てる。

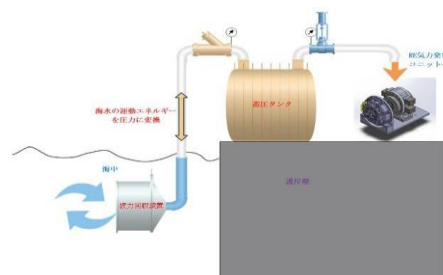
5. 波力回収装置の機構の最適化に関する実証

株式会社ダ・ビンチ（本社：奈良県大和高田市、代表取締役：東謙治氏）から実証実験実施の希望があり、大阪府が管理する港湾の護岸で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2020年1月25日～3月31日

※上記期間中に複数回試験を実施予定。

② 概要：港湾の護岸壁に波力回収装置を設置し、実環境における圧縮空気の製造効率に関するデータを取得して同装置の最適化形状を検証する。



③ 今後：実証実験を通じて収集したデータを分析し、波の力で効率よく圧縮空気を製造する装置を開発することで、波力発電システムの製品化を目指す。

6. 5G環境でのスマートグラス活用に向けた遠隔作業支援ソリューションに関する実証

株式会社立花エレクトック（本社：大阪市、代表取締役社長：渡邊武雄氏）から実証実験実施の希望があり、大阪府咲洲庁舎で実施できるよう調整、支援した。

① 実施日：2020年2月13日

② 概要：点検、保守などの現場で作業員が装着し、遠隔地から指示を受ける際などに利用されるスマートグラスについて、5Gで接続した際の遠隔作業支援における有用性などを検証する。



③ 今後：実証実験の結果を踏まえ、人材不足対策や若手育成に繋がる新しいソリューションの創出を目指す。

7. 来園者等の利便性や満足度向上に繋がる次世代モビリティサービス等の実証

関西電力株式会社（本社：大阪市、取締役社長：岩根茂樹氏）と株式会社ダイヘン（本社：大阪市、代表取締役社長：田尻哲也氏）から実証実験実施の希望があり、万博記念公園で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2020年2月13日～18日 ※16日除く
- ② 概要：来園者の利便性および満足度向上を目的に、ワイヤレス充電対応の電動カート、スマートフォンアプリによるオンデマンド配車予約システムを園内移動に利用する。また IoT 技術を活用した位置情報把握と人流分析等の技術も組合せることで万博記念公園内を仮想のスマートシティに見立て、次世代モビリティサービスとしての実装モデルを検証する。
- ③ 今後：実証実験の結果を踏まえ、エネルギー、モビリティ、防犯、データ利活用等の要素を組み合わせた、スマートシティの取組みに活かす。



2020年度

1. 波力回収装置の機構の最適化に関する実証（2期）

株式会社ダ・ビンチ（本社：奈良県大和高田市、代表取締役：東謙治氏）から実証実験実施の希望があり、大阪府が管理する港湾の護岸で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2020年5月1日～2021年3月31日
- ② 概要：波により生じる海水の質量の移動を利用して運動エネルギーを圧力に効率的に変換する機構を検証するため、1月25日から4月30日まで、泉大津フェニックス埠頭護岸において、開発中の波力回収装置を海中に沈め、海水の運動エネルギーを圧力に変換する実験を行い、データを取得した。今回はこのデータをもとに、形状を変化させた波力回収装置で実証を行い、最も効率のよい形状を検証する。
- ③ 今後：実証実験を通じて、より効率よく波のエネルギーから圧縮空気を製造する波力回収装置を開発することで、波力発電システムの製品化を目指す。



2. センサー付きLED道路灯を活用したスマートライティングによる

スマートシティソリューションに関する実証

ミネベアミツミ株式会社（本社：長野県北佐久郡御代田町、代表取締役会長兼社長執行役員（CEO & COO）：貝沼 由久氏）から実証実験実施の希望があり、大阪府管理道路で実施できるよう調整、支援した。

- ① 実施日：2020年9月1日～2021年8月31日
- ② 概要：道路近辺の環境状況（風速・風向、温度・湿度、気圧、降雨の有無、照度、UV、加速度）を把握できるセンサーを搭載した道路灯を、大阪府が管理する道路6か所



に設置し、無線通信により道路灯の照度等の一元管理を行うほか、環境状況のデータを収集する。センサーが収集したデータを道路管理に役立てることが可能かを検証する。

- ③ **今 後**: 今後、より多機能なセンサーを開発・搭載し、実証実験の結果を踏まえ、地方自治体への導入を目指す。

3. 「中之島チャレンジ 2020」における移動ロボットの自律走行技術実証

株式会社プロアシスト（本社：大阪市、代表取締役社長：生駒京子氏）から実証実験実施の希望があり、中央公会堂及び中之島図書館周囲の歩道で実施できるよう調整、支援した。

- ① **実 施 日**: 2020 年 9 月 20 日

※実験走行: 8 月 29 日、30 日、9 月 19 日

- ② **概 要**: 中之島で実施する移動ロボットを自律走行させる公開共同実験「中之島チャレンジ」において、12 チーム 12 台の移動ロボットが時速 4 キロメートル以下で自律走行した。

- ③ **今 後**: 実証実験を通じて収集したデータをもとに、人が往来する環境における移動ロボットの自律走行技術の開発に役立てる。



以 上